

ソーシャルフットボール九州大会 実施規定

1、規則全般

国際サッカー連盟(FIFA)の定めるフットサル競技規則に準拠する。しかし、以下の点については、特定非営利活動法人日本ソーシャルフットボール協会競技規則に基づく特別ルールにて実施する。

2、チーム編成

- ① ベンチ入りできる登録選手は参加資格（要綱参照）を有する最大 15 名で編成する。試合ごとの登録メンバーの変更は認めない。
- ② 試合は 5 名で行い、うち 1 名はゴールキーパーとする。しかし、女性が出場する場合は、5 名に女性 1 名を追加選手として 6 名での試合が可能である。ただし、女性が 2 名出場しても上限は 6 名となる。
- ③ ベンチ内の選手はビブスを着用する。
- ④ 監督・コーチ・トレーナー・マネージャーのベンチ入りは 4 名までとする。選手が監督・コーチ・スタッフを兼ねる場合に関して、追加でのベンチ入りは認めない。
- ⑤ それ以外のスタッフはベンチ外とし、試合中の指示などに関しては干渉しない。審判団より干渉していると注意を受けた場合は、スタンド又はピッチから離れた所での観戦を命じられる。
(医療行為が必要な場合は審判の指示に従い処置を行う)

3、試合形式

予選リーグの結果をもって、決勝トーナメントおよび順位決定戦を行う。

- ① 予選リーグは、前後半 7 分ハーフ (7-3-7) のランニングタイムで行う。
- ② 決勝トーナメントは、ファイナルのみプレイングタイムを採用。
セミファイナルが前後半 10 分ハーフ (10-5-10) のランニングタイム、
ファイナルは前後半 10 分ハーフ (10-5-10) のプレイングタイムで行う。
- ③ ファイナルのみ、前後半各 1 回のタイムアウトを取ることが可能である。
- ④ 決勝トーナメントにおいて同点の場合は、3 人の PK 戦を行う。PK 戦が同点の場合は、交互に行い勝負が決定するまで行う。
- ⑤ ファイナルのみ、同点の場合は前後半 3 分ハーフ (3-1-3) の延長戦を行う。延長戦が同点の場合は 3 人の PK 戦を行う。PK 戦が同点の場合は、交互に行い勝負が決定するまで行う。

※参加チーム数や感染状況に応じて試合形式は変更の可能性もあるため、その他の確認も含め、当日の監督会議にて協議し、正式決定とする。

4、反則および基本ルール

原則、特定非営利活動法人日本ソーシャルフットボール協会競技規則に準ずる。

- ① 退場（レッドカード）は1試合の出場停止（内容によってはそれ以上の停止処分あり）
- ② 警告（イエローカード）の累積に関しては、2枚の累積で1試合の出場停止
- ③ 予選リーグ終了時に累積警告を解消し、決勝トーナメントでは改めてカウントされる
- ④ チームの累積ファールに関して、第6回目以降の第2PKは適用しない。

※その他の詳細に関しては、当日の監督者会議にて確認を行う

5、成績規定

成績は勝ち点制を採用し、勝ち点はそれぞれ『勝ち…3点』『引き分け…1点』

『負け…0点』とする。順位はリーグ戦の合計勝ち点によって決定する。勝ち点が同一の場合は以下の基準に沿って順位を決する。

- ① 得失点差
- ② 総得点
- ③ 当該チーム間の対戦成績
- ④ 当該チーム間での対戦の得点数
- ⑤ 抽選

6、感染対策として

- ① 前後半でのベンチ交代は行わずに固定とする。対戦表の記載に準じ、コートに向かって、左記のチームが左側ベンチ、右記のチームが右側ベンチとする。
- ② 可能な限り、選手の交代時にビブスの受け渡しは行わず、共用しない。

大分県ソーシャルフットボール協会

2024年4月吉日